

研究成果の紹介

1 食味の良い水稲新系統「兵系70号」の育成

ねらいと成果

ひょうご豊かな米づくり推進対策において、良食味品種への作付誘導により、「日本晴」の作付面積は1999年産で2,816haと1994年産の18.3%にまで減少し、早生品種の作付比率が低下している。しかし、収穫期の分散と乾燥調製施設の稼働の面から、現場においては「日本晴」と同熟期の良食味品種を求め声強い。

これまで、良食味の早生品種を目標として育成を進めてきた結果、「日本晴」よりやや晩熟であるが、食味の良い「兵系70号」を育成した。

内容

極早生で良食味の「キヌヒカリ」を母、中晩生で強稈・耐病・多収の「葵の風」を父として1993年に交配を行った。

1998～1999年に生産力検定調査を行った結果は、

表1・2に示すとおりである。その際の耕種概要は、播種期：5月26日、移植期：6月16日で、施肥量(Nkg/a)は基肥(代かき前)0.4、分けつ肥0.2、幼穂形成期0.2、減数分裂期0.2である。

「兵系70号」は、「日本晴」より出穂・成熟期が3日程度遅く、長稈で穂数の少ない中間型の粳種である。長稈の割には倒伏にやや強く、いもち病の発生は同程度である。やや多収で、みかけの品質は同程度、食味は「ヒノヒカリ」並にかなり良好である。

今後の方針

奨励品種決定調査、同現地調査、さらには県農作物改良協会試作ほ等で現地適応性ならびに流通評価を検討し、「日本晴」に代わりうるかを判断する予定である。

田中萬紀穂(中央農技・作物部)

表1 「兵系70号」の生育

品種名 系統名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	結実日数 (日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	障害の多少				
							倒伏	葉いもち	穂いもち	紋病	枯病
兵系70号	8.27	10.11	45	101	19.4	351	3.0	0.7	0.7	1.0	0
比)日本晴	8.24	10.7	44	88	19.6	400	3.8	0.5	0.8	1.8	0

注) 障害の多少は0(無)～5(甚)を示す。

表2 「兵系70号」の収量・品質

品種名 系統名	収量					玄米			
	粗重 (kg/a)	歩合 (%)	精米重 (kg/a)	玄米重 (%)	同左比率 (%)	容積重 (g/l)	千粒重 (g)	品質	検査等級
兵系70号	72.4	77	56.0	104	4.2	861	21.0	4.4	1上
比)日本晴	71.5	76	54.1	100	3.7	858	22.7	4.5	1下～2上

注) 品質は1(上上)～5(中中)～9(下下)を示す。検査等級は神戸食糧事務所社支所の調査による。

表3 食味官能調査成績

試験年次	品種・系統名	外観	香り	硬さ	粘り	味	総合評価	食味ランク
1999	兵系70号	0.350	0.050	0.200	0.450	0.400	0.350	A
	比)日本晴	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	A'
	参)ヒノヒカリ	0.400	0.150	-0.300	0.600	0.300	0.300	A
	参)あきあき	0.450	0.100	-0.200	0.200	0.100	0.150	A'

注) 日本穀物検定協会神戸支部の調査による。